

# 大阪人権博物館（リバティおおさか）の概要

1. 開館 昭和60年(1985)12月4日(博物館登録 昭和61年4月18日)
2. 設置主体 財団法人 大阪人権博物館  
 [職員]館長1名(非常勤)、事務局長(兼総務部長)1名、総務部職員6名、事業部職員11名、嘱託(司書)1名、非常勤職員1名 計21名  
 ※うち事務局長兼総務部長及び教育普及課参事(指導主事)の2名は府派遣、事業部長は大阪市より派遣  
 ⇒平成21年度体制  
 館長1名(非常勤)、総務部職員6名、事業部職員8名 計15名  
 (▲府派遣2名、▲市派遣1名、▲退職不補充1名、▲嘱託(司書)1名、▲非常勤職員1名)

3. 基本財産 92,200千円  
 (府10,000千円、市10,000千円、市町村40,000千円、解放同盟21,200千円、民間11,000千円)

4. 事業目的 人権に関する歴史的調査研究を行うとともに、関係資料を収集・保存し、併せてこれらを一般に公開し、人権思想の普及と啓発に資する。  
 [主な事業] ・人権問題に関する関係資料の収集・保存、貸出  
 ・人権問題に関する展示  
 ・人権啓発等に資する講演会、セミナー、ワークショップ等の実施  
 ・人権に関する演劇・映画等のホール事業  
 ・人権問題に関する研究・広報活動

5. 沿革 昭和57年8月 資料館設立準備室設置  
 昭和57年12月 「財団法人大阪人権歴史資料館」の設立が認可される  
 昭和60年3月 理事会において、館名を「大阪人権歴史資料館」、愛称を「リバティおおさか」に決定  
 昭和60年12月 開館  
 平成7年3月 理事会において、法人名を「財団法人大阪人権博物館」に変更し、12月4日から館名を「大阪人権博物館」に変更  
 平成7年12月 大阪人権博物館として第1次リニューアルオープン  
 平成16年2月 入館者100万人  
 平成17年12月 第2次リニューアルオープン

6. 施設概要(建物:法人所有、土地:大阪市)  
 所在地 大阪市浪速区浪速西3-6-36(大阪市立栄小学校跡地)  
 土地 館敷地 6,949㎡ 駐車場用地950㎡  
 建物 鉄筋コンクリート造 2階建(一部3階) 延べ床面積 6,242㎡ 展示面積 1,884㎡

7. 運営費負担 府6:市4 (千円)

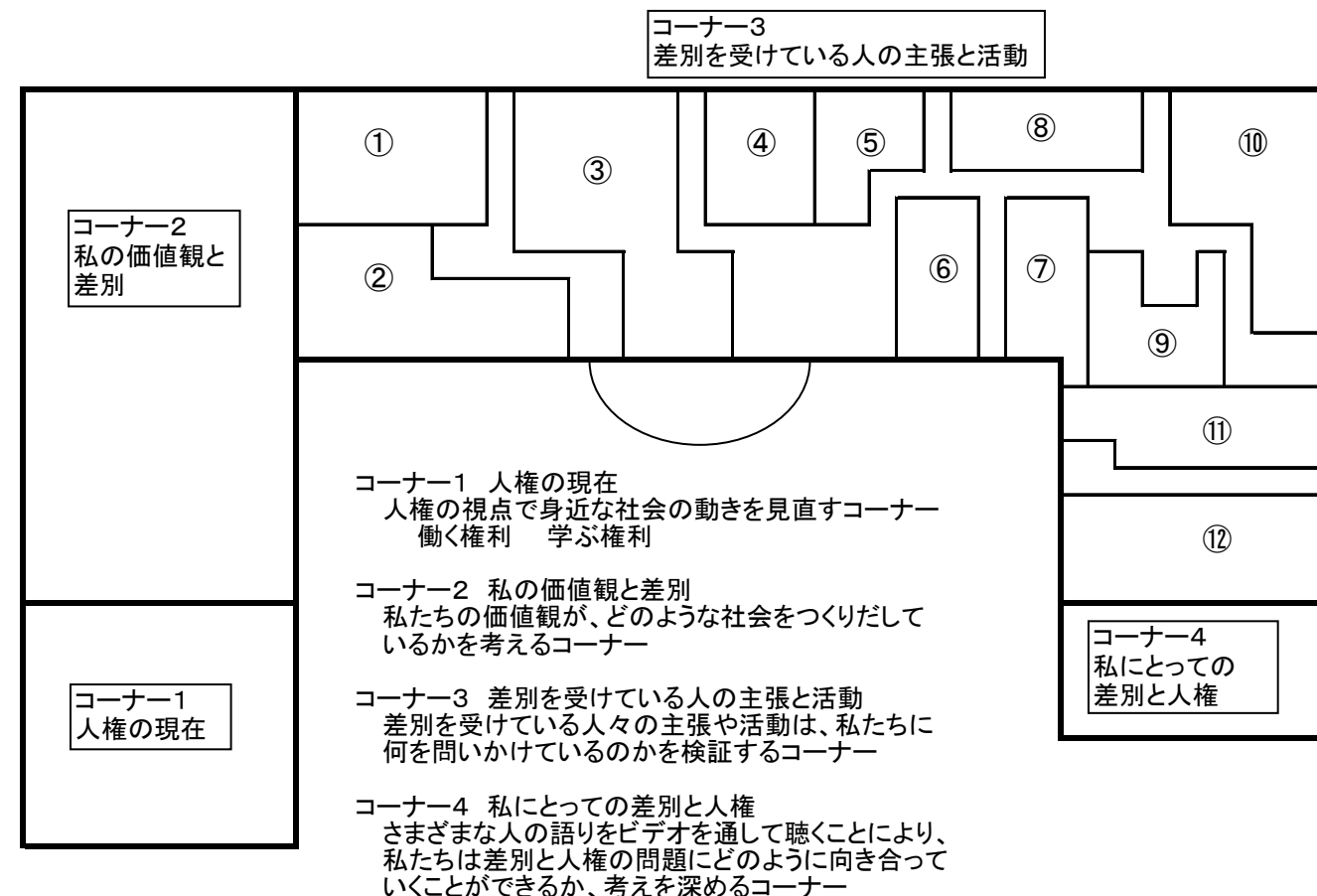
年度	総額	府補助	市補助	自主財源
19決算	275,406	153,138	102,092	20,176
20予算	222,106	125,186	83,458	13,462
21予算案	173,429	93,725	62,482	17,222

※入館料(括弧内は団体料金...20名以上)  
 通常一般 250円(200円)  
 特展一般 500円(400円)  
 通常高校生・大学生 150円(100円)  
 特展高校生・大学生 300円(200円)  
 中学生以下、65歳以上、障がい者(介助者含む)は無料

8. 入館者数 (20年度については21年1月末現在)

年度	入館者数	うち小中学生	大高生	大人一般
18	61,190	17,978	7,946	25,966
19	50,301	13,784	8,620	19,677
20	41,198	11,559	7,339	15,924

9. 現行の常設展示 <展示の統一テーマ> 「私が向き合う日本社会の差別と人権」  
 [コーナー1] 人権の現在  
 [コーナー2] 私の価値観と差別  
 [コーナー3] 差別を受けている人の主張と活動(12のテーマ)  
 ①在日コリアン ②ウチナンチュ ③アイヌ民族 ④女性 ⑤性的少数者 ⑥障害者  
 ⑦HIV感染者、AIDS患者 ⑧ハンセン病回復者⑨ホームレス ⑩被差別部落  
 ⑪公害被害者 ⑫水俣病患者  
 [コーナー4] 私にとっての差別と人権



10. 課題
- ①展示が多岐にわたり、難しく、わかりにくい
  - ②入館者数が減少傾向にある  
 第1次リニューアル後(平成8年度) 93,301人(うち小中学生 19,193人)  
 ↓  
 第2次リニューアル後(平成18年度) 61,190人( " 17,978人)  
 (平成19年度) 50,301人( " 13,784人)
  - ③特に小中学生の利用が減少しており、教育資源としての活用が十分でない